

令和8年1月22日
国土交通省関東地方整備局
千葉国道事務所

工事発注手続きについて

～「R7国道357号船橋地区改良舗装工事」の発注手続きを行います～

千葉国道事務所が発注する「R7国道357号船橋地区改良舗装工事」において、不調・不
落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりや
めや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R7国道357号船橋地区改良舗装工事」については、以下のとおり不調・
不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 余裕期間制度（任意着手方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 千葉県政記者会 千葉市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 千葉国道事務所

電話：043-287-0311（代表） メールアドレス：ktr-chiba-koho@mlit.go.jp

副所長（技術） 山室（やまむろ）（内線：204）

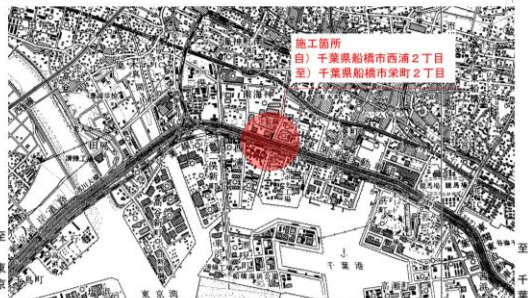
工務課長 町田（まちだ）（内線：411）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R 7 国道 3 5 7 号船橋地区改良舗装工事
- (2) 工事場所：自) 千葉県船橋市西浦 2 丁目
至) 千葉県船橋市栄町 2 丁目
- (3) 工 期：工事の始期から 3 3 2 日間
(但し、令和 8 年 4 月 1 日 (工事着手期限) までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式 (総合評価落札方式) 企業実績評価型
- (5) 工事種別：一般土木工事 C 等級
- (6) 工事内容 (概要)：
- | | |
|---------------|----------|
| 踏掛版設置工 | 2 箇所 |
| 掘削工 (I C T) | 350 m3 |
| 橋面防水工 | 379 m2 |
| アスファルト舗装工 | 1,366 m2 |
| 透水性舗装工 | 1,540 m2 |
| プレキャストカルバート工 | 26 m |
| 側溝工・管渠工 | 154 m |
| 集水桝・マンホール工 | 12 箇所 |
| 縁石工 | 124 m |
| 路側防護柵工 | 202 m |
| 大型標識工 | 1 基 |
| 区画線工 | 976 m |
| 道路照明設備工 | 1 式 |
| 構造物撤去工 | 1 式 |
| 維持整備工 | 1 式 |
| 仮設工 | 1 式 |

■工事概要図

位置図



地理院地図を加工して使用

現況写真

栄町交差点→東京方面

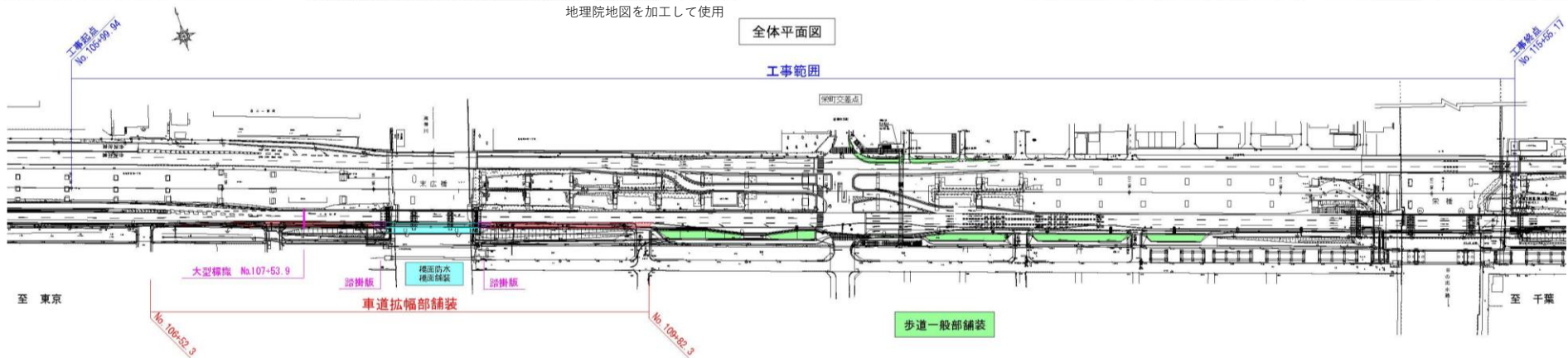


栄町交差点→千葉方面

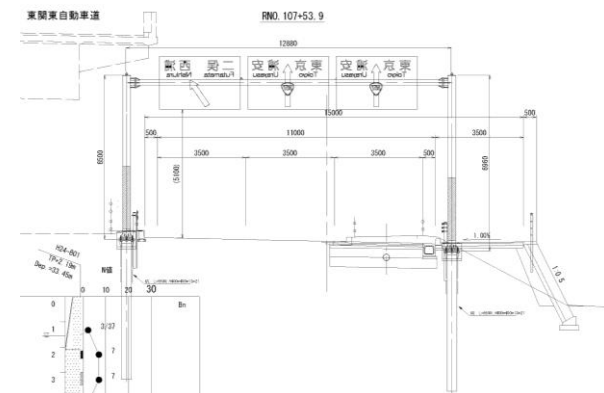


全体平面図

工事範囲



大型標識工一般図



舗装構成図

(車道拡幅部)



表層: 改質As 密粒II型(20)	t=50mm
タックコート(PK-4)	
中間層: 改質As 粗粒I型(20)	t=50mm
タックコート(PK-4)	
基層: 再生粗粒度アスコン(20)	t=50mm
タックコート(PK-4)	
上層路盤: 再生瀝青安定処理材(40)	t=100mm
プライムコート(PK-3)	

(歩道一般部)



表層: 透水性アスコン	t=40mm
下層路盤: 再生クラッシュラン(RC-40)	t=100mm
フィルター層: 再生砂	t=100mm

《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を「千葉県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「道路工事における道路付属施設工において、道路標識設置を実施した工事であること。」に限定せず、「道路工事における道路付属施設工を実施した工事であること。」として緩和します。

3. 難工事指定

本工事は、供用している交通量の多い国道357号での作業となり、交通規制を行いながら大型標識や車道舗装等を施工することから、厳しい安全管理が必要であり、また、隣接する他工事との工程調整も必要であることから、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

4. 余裕期間制度（任意着手方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、工事着手期限（令和8年4月1日）の間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	： 令和 8 年 1 月 22 日（木）
○技術資料等の提出期限	： 令和 8 年 2 月 2 日（月）
○入札書・工事費内訳書の提出期限	： 令和 8 年 3 月 3 日（火）
○開札日	： 令和 8 年 3 月 6 日（金）

千葉国道事務所ホームページ
X（旧 twitter）情報

<https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>
https://x.com/mlit_chibakoku



ホームページ



X

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

